

沼津工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	工業英語
科目基礎情報				
科目番号	2018-307	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	電子制御工学科	対象学年	4	
開設期	前期	週時間数	前期:2	
教科書/教材	親TOEIC TEST英文法スピードマスター 安河内哲也著 Jリサーチ出版 補助教材有り			
担当教員	鄭 萬溶			

到達目標

1. 工学分野に関する内容の英文を読み、日本語に要約できる。(D2-3)
2. 技術英語にふさわしい英単語を状況に応じて適切に使用し、表現することができる。品詞の役割と5つの文型を区別でき、使い分けできる。
3. 時制と助動詞の基本的な使い方を理解し、注意が必要な時制と意外な意味で使われる助動詞を活用できる。
4. 準動詞の働きを理解し、第3文型の目的語として動名詞を取る動詞、to不定詞を取る動詞、また両方を取る動詞をそれぞれ区別できる。
5. 分詞と分詞構文の働きを理解し、分詞構文を的確に和訳でき、関係代名詞と関係副詞の違いを理解し、適切に使い分けできる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1(D2-3)	工学分野に関する内容の英文を読み、日本語に要約できる。	工学分野に関する内容の英文を読み、その内容をほぼ理解できる。	工学分野に関する内容の英文を読み、その内容をほとんど理解できない。
評価項目2	品詞の役割と5つの文型を区別でき、使い分けできる。	特殊なケース以外は5つの文型を区別でき、使い分けできる。	ほとんど5つの文型を区別し使い分けできない。
評価項目3	時制と助動詞の基本的な使い方を理解し、注意が必要な時制と意外な意味で使われる助動詞を活用できる。	時制と助動詞の基本的な使い方が理解できる。	時制と助動詞の基本的な使い方が理解できない。
評価項目4	準動詞の働きを理解し、第3文型の目的語として動名詞を取る動詞、to不定詞を取る動詞、また両方を取る動詞をそれぞれ区別できる。	to不定詞や動名詞の使い方を理解し、それらの適切に使い分けできる。	to不定詞や動名詞の使い方を理解してはなく、それらの適切に使い分けできない。
評価項目5	分詞と分詞構文の働きを理解し、関係代名詞と関係副詞の違いを理解し、適切に使い分けできる。	分詞と分詞構文の働きを理解し、関係代名詞や関係副詞の使い方が理解できる。	分詞と分詞構文の働きと、関係代名詞や関係副詞の使い方が理解できない。

学科の到達目標項目との関係

実践指針 (D2) 実践指針のレベル (D2-3) 【本校学習・教育目標 (本科のみ)】 4 【プログラム学習・教育目標】 D

教育方法等

概要	グローバル化とともに経済活動をはじめとして様々な分野で個人の英語力は重要となっている。従来語学力がそれほど要求されていなかった工学系技術者においても、海外の企業や行政機関現場同士が意思疎通をする場面が増えてきたことから、英語力の向上が要求されるようになってきている。また、個人の英語力を測る尺度としてTOEICが最も一般的にされており、これを入社試験の一部として取り入れている企業も多い。そこで、TOEICトレーニングソフトを利用して基礎的英文法を復習しながら、英単語・熟語、リスニング、リーディングなどを学習する。
授業の進め方・方法	基本的には教科書の問題を解きながら授業を進めていく。教科書の例文を用いて文の構造がわかるように解説する。ビジネス関連の英単語を中心に専門の英単語も紹介していく。適宜課題を課し、単元ごとに重要な知識をまとめられるようにする。
注意点	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
			他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	

				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に 収集することができる。	3		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	50	0	0	0	10	0	60
専門的能力	10	0	0	0	5	0	15
分野横断的能力	20	0	0	0	5	0	25